

広報

こじりや

10月15日

毎月2回発行
1日・15日の

昭和57年(1982) No. 675

編集

越谷市役所企画部広報広聴課



熱気みなぎる演奏に

万雷の拍手!

まちのめざましい発展に目をみ
はる思いがします、と宮口さん

18年前に越谷市に引っ越してき
た私は、人口6万人くらいで、日比
谷線が北越谷駅まで乗り入れて、間も
なくでした。越谷駅で降りて、太い
丸太で仕切った構内を横切り、線路
を渡り、休耕田の雑草のなかを斜め
に突っ切って、建て売りの我が家ま
で20分くらい歩いたものです。

雑草のなかに、はじめは何人かの
足跡、日がたつにつれてそれがだん
だんと幅広く強く踏みかたまれ
春になり草丈が伸びる期になつて
も、そこだけは草も生えず立派な道
が出来てしまつたことを忘れる事
ができません。

その後の越谷市の発展はめざまし
いものがあります。越谷駅も見違え
るよう近代的になり、駅前広場の
ことです。伊豆半島の西海岸で育
ったわたしが、こんなに身近な所で

この広場にヤマモモの木が植えられ
たことです。伊豆半島の西海岸で育
ったわたしが、こんなに身近な所で

ヤマモモの美は、非常にいたみや
すいで出荷することは出来ないと
聞いたことがあります。それにしても、
思いがけない木が植えられて、
この地への愛着が倍加しました。

きれいな駅舎と駅前広場。23万都
市にさわらしい玄関ですが、ロータ
リーをぐるりと回りながら走るのでは
す。そこから四方に延びている道路

3日、サンシティ青少年音楽祭が越谷市民ホール(大ホール)で行われました。この音楽祭は、青少年健全育成の一環として、音楽を通じ「健やかな心身づくり」を目的に行われているもので、今年で3回目を迎えるました。今年も市内各ブロックごとの中・高校生、ボイスカウトなど10団体の演奏が繰り広げられ、会場を埋めつくした人々は力のこもった演奏に魅了されていました。

越谷駅前広場の

ヤマモモに思うこと

南越谷3の15の10
宮口 幸子 (43歳)越谷と
わたし

104 ◇◇

「越谷とわたし」は、あなたの
コーナーです。みんなさんの投稿を
お待ちしています。字数は900字
程度です。

広報広聴課

市の人口

(昭和57年10月1日現在)
(住民基本台帳)

前月比

総人口	23万3204人	456人増
男	11万7744人	246人増
女	11万5460人	210人増
世帯数	6万8449世帯	171世帯増

自然災害から市民生活を守るには

快適環境シンポジウムがもたれ、市民の手による市民環境会議が準備されています。

川とともに私たちの生活とのかかわりについて、環境という面から考えてみたいと思います。

生きてきた私たち

昔から、人間と河川は洪水の脅威と農耕のための用水源というかかわりを持っています。

これまで作られてきた米は、越谷米としてつとに有名でした。土に生きてきた人々にとって、川の恩恵に浴するところが大きかったです。

しかしながら、川は魔物でもありました。ひとたび川が怒ると、忍しい洪水にみまわれることもありました。

かつて越谷周辺の沖積低地には、古利根川、元荒川、綾瀬川、庄内古川、吉川の諸河川が集流していました。かつて、台風による洪水のほか、梅雨時の集中豪雨による河川のはんらんによって水害を受けることがあります。私たちの先人の生活は、川とのたたかいでもあったのです。

その後河川は流域の都市化の進展とともになって、飲料水をはじめとする

生活用水、工業生産のための工業用水など多方面にわたって利用されるようになりました。河川はどうして水資源のばかりではなく、その流れがもたらす潤い、水辺の散策、釣りなどのレクリエーションの場としても、私たちと深いかかわりを持っています。

越谷アメニティ八景に代表されるように、川を中心とした越谷の景観が美しいことはみなさんもご存知のことでしょう。川は四季おりおりの情趣を見せ、私たちの心にやすらぎを与えてくれます。地味ではあるが、風土がはぐくんだきものということがいえるでしょう。

河川はこのようにさまざまな形で私たちの生活活動に重要な位置を占めているわけですが、河川利用が高

度化するにつれて流域には人口・産業が集中し、河川とのかかわりあいも新たな問題が生じてきました。そ

の一つは河川の自浄作用をはるかに超える汚濁負荷量が流入するようにな

る、水質が汚濁し、かつての清流の面影を失いつつあるといふことで

す。もう一つの問題は次に述べる集中豪雨などによる洪水(浸水)です。川と私たちのかかわりをいま一度考えてみましょう。

中川流域に属する

越谷市の河川

市内には五つの一級河川と多くの農業用排水路が流れていますが、これらは中川流域に属します。

この流域は東縁に上総台地、西縁に天宮台地と呼ばれる洪積台地の間に利根川、荒川等のはんらん原とし

て形成された沖積平野が広がっています。この沖積平野を大きく分けると、河川の堆積作用によって形成された微高地である自然堤防とそれに囲まれた後背湿地から成っています。

この後背湿地は図2のように、かつてはほとんど沼地であったと考えられます。この流域が今日のような形態になったのは、徳川幕府の成立に前後して行われた河川の改修工事によるものです。

そのためこれらの沼地は早拓・開田され、その大部分が水田となりました。このような從来からの河川沿いの微高地は主として宅地になり、後背湿地は水田といった土地利用は、近年の都市化により大きく変化しました。それは水田が次々に埋められたことです。

これに関連して農業用排水路のふた掛け、さつきよ、道路などの他の舗装により排出量の増大や雨水の地下への浸透能力の低下を引き起こしました。さらに年々進行する地盤沈下の影響もあり、越谷地域は内水型洪水(たんすい)の起こしやすい

地域と言えます。

一日も早く

総合治水対策を

洪水の被害をいっそう大きなものとする危険があります。

そこで、このような流域の洪水被害からの住民の生命と財産を守るために、流域全体で洪水に強いまちづくりをしていく必要があります。これが

中川流域は低湿地が多く、水はけが悪いために、降った雨が河川に流れ込む前にその地域ごとにあふれる、いわゆる内水はんらんを生じやすいのが、特徴です。また、流域で

の洪水域は見方をかえると、灌水(たんすい)域ともいえます。この灌水域が宅地化された後に、内水はんらんをおこすと洪水という表現になるのです。

中川流域では首都圏の影響により開発がすすみましたが、多くの人口をかかえるようになりました。し

かしながら、その一方では河川の整備が追いつかず、洪水に対して不安定な状態にあるといえます。まだ

流域が都市化すると、それまでに持つていた洪水被害を最小限度に抑えられるメカニズムが破壊され、予想もしなかったような形で洪水が起ります。

とも考えられます。

都市化される以前は水田や畑が持つていた雨水を地中へ浸透させる保水機能や、一時に貯留するという

水機能が失われ、逆に下水や河川への雨水の流出が増大することも

あります。

遊水機能が失われ、逆に下水や河川への雨水の流出が増大することも

あります。

治水事業はぼう天な費用と長い年月を要しますが、完全な治水対策が

図2 かつて沼があったところ
(越谷市地形・沼跡図)

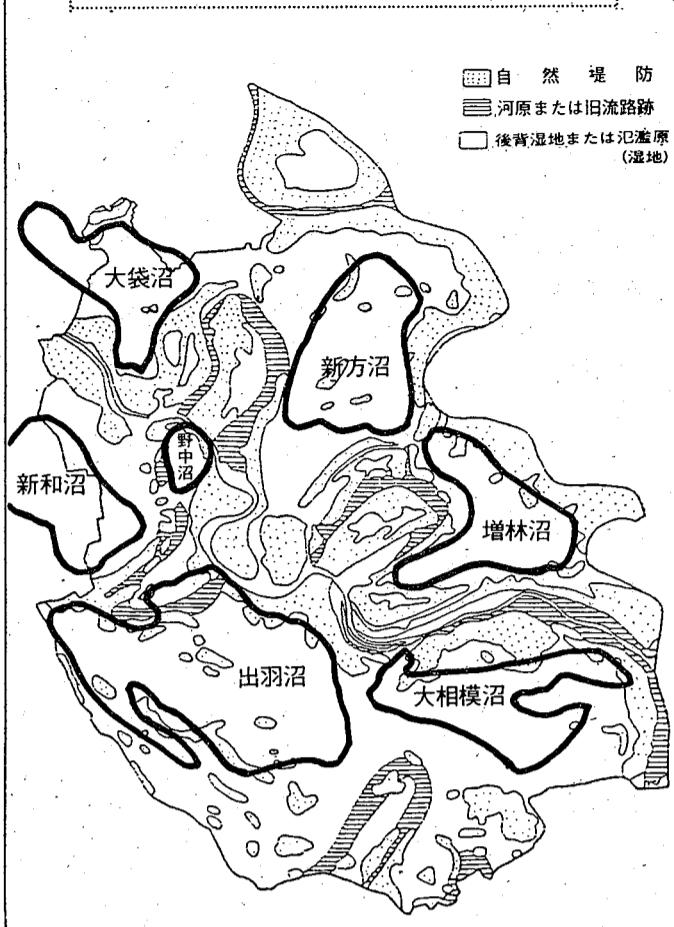


図1 台風18号の被害状況
(市の調査による概略図)

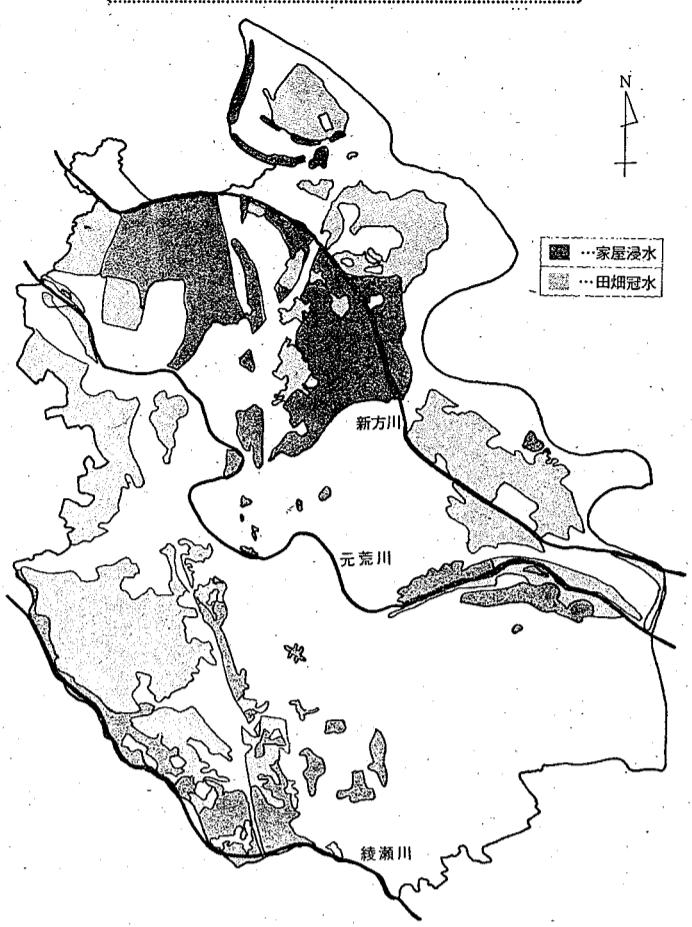
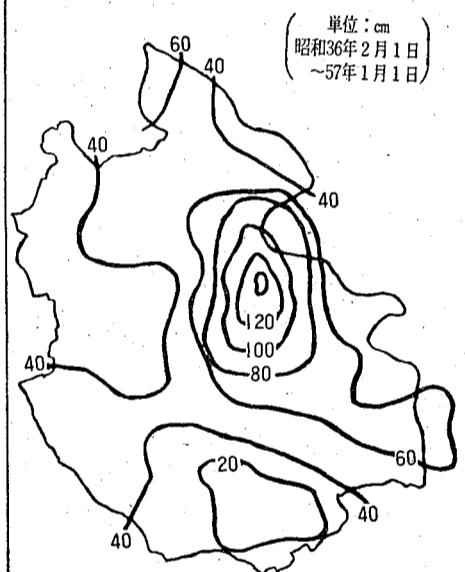
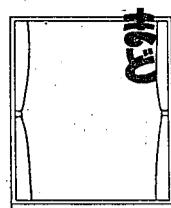


図3 地盤沈下がすすんでいるところ
(累積沈下量図)



台風18号の影響で増水した新方川 (10月13日)

私たちで住んでる社会は、あきらゆる面から考えてすべて環境だと思います。環境整備ということはよく言われることですが、下水や水路を直すことだけが環境整備ではない、というのが私の持論です。



平たくいふは、それが文化など異りますが、そうした自然界の中に入り、類が生活を営みながら自らの知恵をそこに築きあげて将来に引き継ぐ、それが人類の歴史であるようにと思われます。

を、いま私たちは自然に手を貸しながら、みんなで書きあげて、将来に残していくしかなければなりません。人類史は、これから先必ず位長続き

島村慎市郎

快適環境を

表1 越谷「ミニユーニティセンター」貸借対象表総括表

市民のいのちと健康を守る 市立病院会計

5年間の入院延医療費は5万3450人（1日平均256人）、外来延医療費25万2440人（診療日当り1日平均846・7人）を数え、これを前年度1日平均と比較すると、入院患者2・5人増、外来患者58・2人増となりました。

事業会計の收支決算は一般会計から14億1700万円の繰出金を受け、収益的収入の負担金・補助金と

昭和56年度は、地域医療の中核病院として、医療施設の充実をばかりながら市民の生命と健康を守り、地域医療の発展と医療サービスの向上に努めることも、公営企業として経済性の発揮、健全財政の確立に努

文部の監修 桃谷長次郎
昭和56年度事業報告

表2の見方 1日を3区分
(午前・午後・夜間)という
『単位』として集計したもの
です。利用者数は各施設の月
別合計の利用者数

市立病院収益の収入および支出

科 目	決 算 額	備 考
医業収益 医業外収益 特収益 医業別合計(A)	36億7222万円 11億1934万円 495万円 47億9651万円 46億6589万円 5億3852万円 2031万円 52億2472万円	入院、外来収益等 一般会計預託金(7億2526万円)等 一般会計預託金(13億5409万円)等 過年度損益修正益
医業外費用 医業別合計(B)		給与費、経費、減価償却費等 支払利息、職員住宅費、開発費償却等 過年度損益修正損
取支差引(A)-(B)	△ 4億2821万円	△印は赤字を示します

市立病院資本の収入および支出		
科 目	決 算 額	備 考
出資	3億3765万円	一般会計出資金
投資	212万円	修学資金返還金等
取扱	3億3977万円	
収益	4389万円	
建物	2億8982万円	医療器械購入等
建設	452万円	企業債元金償還
改良	154万円	修学資金貸付金等
改修		
建物	3億3977万円	開発費
投資		
開支		
出資		
合計(B)		
収支差引(A)-(B)	0万円	

1、資産の部		(単位千円)		
科 目	合 計	普通会計	受託会計	
流動資産合計	123,757	123,729	28	
固定資産合計	23,898	23,898	0	
緑延資産合計	3,384	3,384	0	
資産合計	151,039	151,011	28	

2、負債の部		(単位千円)		
科 目	合 計	普通会計	受託会計	
流動負債合計	148,115	120,116	27,999	
固定負債合計	2,098	1,824	274	
負債合計	150,213	121,940	28,273	

3、正味財産の部		(単位千円)		
科 目	合 計	普通会計	受託会計	
基本 金	14,000	14,000	0	
剰余金合計	△13,174	15,071	△28,245	
正味財産合計	826	29,071	△28,245	
負債及び正味財産合計	151,039	151,011	28	

越谷コミュニティセンターは管理を財団法人越谷コミュニティセンターに委託しておりますが、財団の財政状況及び施設の利用状況は次のとおりです。

まず、56年度の市民ホールの延利率者数は39万5987人で(別表2)利用率も前年度に比べ16.1%増えました。また、結婚式場も500組の利用がありました。

財団の56年度決算は別表一のとおりです。

・普通会計……財団の管運営と財團が行う自主文化事業、並びに財團が經營する結婚式場の收支です。

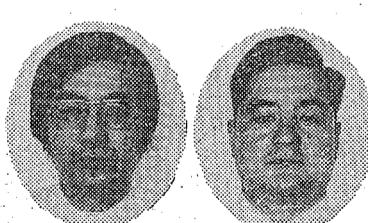
・受託会計……財団が越谷市から管理委託された市民ホールの維持管理についての収支です。

The image shows the front cover of a book. The title 'シリース' is at the top in a large, bold, black font. Below it, '子どもの心' is written in a smaller, black font. Underneath that, '育て' is written in a large, bold, black font. At the bottom right, the number '4' is prominently displayed. The background of the cover has a subtle, repeating pattern.

表2 昭和56年度 越谷コミュニティセンター利用実績調査

施設別 月別	大 ホー ル	小 ホー ル	ポルテイ ゴホール	視聴 覚室	第1 会議室	第2 会議室	第3 会議室	第4 会議室	和室1	和室2	特別 会議室	応接室	合 計		利用者数	
													単位	%	人	%
56年4月	23	45	44	26	39	27	15	11	14	8	7	12	271	7.96	28,927	7.30
5月	24	47	35	28	28	25	25	9	13	15	5	10	264	7.76	35,371	8.93
6月	30	32	52	27	42	28	16	6	4	7	9	10	263	7.73	31,268	7.90
7月	19	36	19	22	40	29	26	16	14	5	6	9	241	7.08	21,065	5.32
8月	36	43	34	27	30	31	27	12	8	6	9	26	289	8.49	25,173	6.36
9月	30	28	51	42	36	24	19	19	13	9	4	13	288	8.46	37,018	9.35
10月	33	37	70	31	43	26	28	22	16	14	11	15	346	10.17	47,652	12.03
11月	49	47	59	28	31	27	30	37	35	31	5	12	391	11.49	63,381	16.01
12月	17	26	61	20	19	15	19	7	16	13	7	17	237	6.97	23,405	5.91
57年1月	12	16	44	20	22	23	16	7	21	17	8	3	209	6.14	19,439	4.91
2月	30	27	49	23	33	25	33	16	18	14	19	4	291	8.55	30,219	7.63
3月	20	56	52	27	29	23	42	13	20	13	13	5	313	9.20	33,069	8.35
計	323	440	570	321	392	303	296	175	192	152	103	136	3,403	100.00	395,987	100.00
56年度各施設利用率	35.65	48.57	62.91	35.43	43.27	33.44	32.67	19.32	21.19	16.78	11.37	15.01	表2の見方 1日を3区分(午前・午後・夜間)という「単位」として集計したもの			
55年度各施設利用率	28.54	48.15	56.32	32.68	41.83	32.35	27.67	17.54	19.61	17.97	13.40	7.19	です。利用者数は各施設の月			
年度比 (55年度を100)	124.91	100.87	111.70	108.41	103.44	103.37	118.07	110.15	108.06	93.38	84.85	208.76				

仄報にてかや、毛をもとと主政を経ておに橋



市役所では、1月1日付で次のとおり人事異動がありました。カッコ内は旧職。

市立病院診療部診療
部門循環器内科部長

市立病院副院長

は10月11

長△兼△診療部中央診療部長△臨床
查科部長(同診療部長△兼△診療
中央診療部門臨床検査科部長)谷口
誠△越谷市立病院診療部診療部門

このように幼い時から自分の欲望を満たす時にも相手の存在を認めることを教えているわけです。

そして乳児がミルクを飲み終わると母親はまた乳児の耳もとに「口を養せて「サンキュウ」「サンキュウ」と繰り返します。乳児は母の「ん」をまねて、自然に「サンキュウ」と言つようになるのです。この「ありがとうございます」といふ言葉、「ありがとうございます」といふ言葉、もの

り返し繰り返しあがめます。母親の繰り返す「あなたは乳児はしかたない」「アリーズ」「アリーズ」と言います。なぜかはじめでミルクを与えるのです。このよが「アリーズ」と言わせることは相手の立場を想い、相手の気持ちに訴えることです。

蒲生地区町名変更区域図(略図)



市税の納付書(5・6・7期分)を送付します

昭和57年度市税(市・県民税、固定資産税、都市計画税、国民健康保険税)の5期から7期分の納付書をお送りします。年税額に変更のあった方、新たに課税された方には、賦課決定通知書と納付書(口座振替の方は通帳)の2種類があります。納付書(口座振替の方は通帳)をお送りします。納期限内納付に協力ください。

問合せ 企画課統計係 内線508

この調査の目的は、事業所の種類や従業者数などの事業活動の基本となる事項を調べることにより、我が国の産業構造や事業所の地域分布を明らかにすることです。事業所を対象の各種統計調査に基づく資料を提供することになります。この調査結果は、國や都道府県、市区町村の行政や諸施策に広く利用されています。

統計局では、この事業所統計調査をはじめ他の各種統計調査を円滑に行い精度の高いものとするため、3年ごとの中間年である今年、事業所に関する資料の整備を行います。事業所の新設廃業等事業内容、従業員数などについて調べるため調査が伺います。ご理解ご協力をお願いします。

参加チーム

とき 12月5日(日)* 小雨決行

コース 高校・一般・地区的部・市内6区間2・24

申込み 11月4日(木)までに教育委員会社会体育課(内線425)へ

参加費 1チーム600円(試合当日徴集)

試合 一般男女・家庭婦人・ダブルスの部(トーナメント方式)

対象 市内在住・在勤・在学の方

* 雨天の場合は14日(日)

とき 11月7日(日)

申込み 11月4日(木)までに教育委員会社会体育課(内線425)へ

受講料 無料(教材費は自己負担)

対象 県内在住・在勤の青年および講座に興味関心のある方

金 調理 10月(7回)~11月(10回)

火 曲道 10月~3月(18回)

曜 講座名

講座名

期間

時間

時間

定員

20人

申込み 10月15日(金)~20日(水)

受講料 (月曜日は除く)に直接登記へ

とき 10月27日(水)

講演会 演題一、「極地の生活」(小ホール)

消防本部主催

とき 午後1時~4時30分

講演会 演題二、「極地の生活」(小ホール)

消防本部主催

とき 10月27日(水)

講演会 演題三、「火災予防について」(前田清吉(消防本部予防課長))

消防本部主催

とき 10月27日(水)

講演会 演題四、「火災予防について」(前田清吉(消防本部予防課長))

消防本部主催

とき 10月27日(水)

講演会 演題五、「火災予防について」(前田清吉(消防本部予防課長))

消防本部主催

とき 10月27日(水)

講演会 演題六、「火災予防について」(前田清吉(消防本部予防課長))

消防本部主催

とき 10月27日(水)

講演会 演題七、「火災予防について」(前田清吉(消防本部予防課長))

消防本部主催

とき 10月27日(水)

講演会 演題八、「火災予防について」(前田清吉(消防本部予防課長))

消防本部主催

とき 10月27日(水)

講演会 演題九、「火災予防について」(前田清吉(消防本部予防課長))

消防本部主催

とき 10月27日(水)

講演会 演題十、「火災予防について」(前田清吉(消防本部予防課長))

消防本部主催

とき 10月27日(水)

講演会 演題十一、「火災予防について」(前田清吉(消防本部予防課長))

消防本部主催

とき 10月27日(水)

講演会 演題十二、「火災予防について」(前田清吉(消防本部予防課長))

消防本部主催

とき 10月27日(水)

講演会 演題十三、「火災予防について」(前田清吉(消防本部予防課長))

消防本部主催

とき 10月27日(水)

講演会 演題十四、「火災予防について」(前田清吉(消防本部予防課長))

消防本部主催

とき 10月27日(水)

講演会 演題十五、「火災予防について」(前田清吉(消防本部予防課長))

消防本部主催

とき 10月27日(水)

講演会 演題十六、「火災予防について」(前田清吉(消防本部予防課長))

消防本部主催

とき 10月27日(水)

講演会 演題十七、「火災予防について」(前田清吉(消防本部予防課長))

消防本部主催

とき 10月27日(水)

講演会 演題十八、「火災予防について」(前田清吉(消防本部予防課長))

消防本部主催

とき 10月27日(水)

講演会 演題十九、「火災予防について」(前田清吉(消防本部予防課長))

消防本部主催

とき 10月27日(水)

講演会 演題二十、「火災予防について」(前田清吉(消防本部予防課長))

消防本部主催

とき 10月27日(水)

講演会 演題二十一、「火災予防について」(前田清吉(消防本部予防課長))

消防本部主催

とき 10月27日(水)

講演会 演題二十二、「火災予防について」(前田清吉(消防本部予防課長))

消防本部主催

とき 10月27日(水)

講演会 演題二十三、「火災予防について」(前田清吉(消防本部予防課長))

消防本部主催

とき 10月27日(水)

講演会 演題二十四、「火災予防について」(前田清吉(消防本部予防課長))

消防本部主催

とき 10月27日(水)

講演会 演題二十五、「火災予防について」(前田清吉(消防本部予防課長))

消防本部主催

とき 10月27日(水)

講演会 演題二十六、「火災予防について」(前田清吉(消防本部予防課長))

消防本部主催

とき 10月27日(水)

講演会 演題二十七、「火災予防について」(前田清吉(消防本部予防課長))

消防本部主催

とき 10月27日(水)

講演会 演題二十八、「火災予防について」(前田清吉(消防本部予防課長))

消防本部主催

とき 10月27日(水)

講演会 演題二十九、「火災予防について」(前田清吉(消防本部予防課長))

消防本部主催

とき 10月27日(水)

講演会 演題三十、「火災予防について」(前田清吉(消防本部予防課長))

消防本部主催

とき 10月27日(水)

講演会 演題三十一、「火災予防について」(前田清吉(消防本部予防課長))

消防本部主催

とき 10月27日(水)

講演会 演題三十二、「火災予防について」(前田清吉(消防本部予防課長))

消防本部主催

とき 10月27日(水)

講演会 演題三十三、「火災予防について」(前田清吉(消防本部予防課長))

消防本部主催

とき 10月27日(水)

講演会 演題三十四、「火災予防について」(前田清吉(消防本部予防課長))

消防本部主催

とき 10月27日(水)

講演会 演題三十五、「火災予防について」(前田清吉(消防本部予防課長))

消防本部主催

とき 10月27日(水)

講演会 演題三十六、「火災予防について」(前田清吉(消防本部予防課長))

消防本部主催

とき 10月27日(水)

講演会 演題三十七、「火災予防について」(前田清吉(消防本部予防課長))

消防本部主催

とき 10月27日(水)

講演会 演題三十八、「火災予防について」(前田清吉(消防本部予防課長))

消防本部主催

とき 10月27日(水)

講演会 演題三十九、「火災予防について」(前田清吉(消防本部予防課長))

消防本部主催

とき 10月27日(水)

講演会 演題四十、「火災予防について」(前田清吉(消防本部予防課長))

消防本部主催

とき 10月27日(水)

講演会 演題四十一、「火災予防について」(前田清吉(消防本部予防課長))

消防本部主催

とき 10月27日(水)

講演会 演題四十二、「火災予防について」(前田清吉(消防本部予防課長))

消防本部主催

とき 10月27日(水)

講演会 演題四十三、「火災予防について」(前田清吉(消防本部予防課長))

消防本部主催

とき 10月27日(水)

講演会 演題四十四、「火災予防について」(前田清吉(消防本部予防課長))

消防本部主催

とき 10月27日(水)

講演会 演題四十五、「火災予防について」(前田清吉(消防本部予防課長))

消防本部主催



広報

こじがや

第8回越谷市交通安全
市民まつり特集臨時号

昭和57年10月15日

編 集

越谷市役所企画部広報広聴課



交通安全市民まつりに あなたも参加しよう

「安全・調和・明るい街づくり」をテーマに、年々大きな盛りあがりを見せていく交通安全市民まつりはふれあいの場



市長
島村 慎市郎

今年も開催される事になり、関係者のみなさまのご協力を心から感謝

市民参加で「明るいまちづくり」を
第8回越谷市交通安全市民まつり
もいよいよ間近にせまりました。このまつりは越谷の市民のため、市民による、市民の「まつり」です。市民の皆さま貢献で交通安全を祈念



交通安全市民まつり
実行委員会委員長
井橋 吉一

いたします。
ご存知のように、市民まつりは新しいまつりです。しかししながら、古くから伝わるまつりはそれぞれ意味があるよう市民まつりにも、交通安全金を一人一人が確認しようと大きな意味があります。また、多くの市民が集い、其感想、交通安全金を再確認しあうとともに、ふれあいの輪が地域から地域へ、世代から世代と云わってこそ、まつりの意義は大きいと申せましょう。

市民の手による第8回交通安全市民まつりが今年も盛大に行われます。よろしくからお祈り申しあげます。

今年で8回を迎える交通安全市民まつり。基調テーマは「安全・調和・明るい街づくり」です。市役所をメイン会場に盛りだくさんの催しがあります。

市民まつりを
大切に育てよう！

越谷市民まつりの理想と、平和な明るい街づくり目標に、市民継ぐるみで行われる美い多いこの市民まつりに参加をして、その中から芽生える市民相互の連帯感と地域コミュニティ



交通安全市民まつり
運営協議会会長
青木 並五郎

この市民まつりを実行するにあたり、「水と緑と太陽の街」、そして大空にほたらくしらべほとほ市民のシンボルとして躍進する越谷市と市民まつりを心から見つめていただき、熱心ある交通安全市民まつりを大切に育てていくためにも市民の皆さんの積極的な参加と限りないご協力により、この交通安全市民まつりの成功を願ってやみません。

確認してお早にコミュニケーションを深め、連帯感を強め、市民意識を高めあいまつりです。
市内の約七十の団体から推薦された委員からなる実行委員会はこの3月から「安全・調和・明るい街づくり」という基調テーマのもとに、「まつり」の意義を十分に生かし市民の皆さまに大いに楽しい日、有意義な日をすごしていただくよう鋭意準備してきました。
全市民の皆さま、どうか皆さまねらいで、この「まつり」に積極的にご参加くださいますようお願いいたします。

イの高揚をめざした心と心のすばらしいふれあいの機会になればと願い、関係者一同期待と確信を持って方全の準備に努力をしているところであります。

越谷市交通安全市民まつり



10月24日(日)
雨天のときは10月31日

間合せは……

生活安全課交通対策係

☎ 64-2111

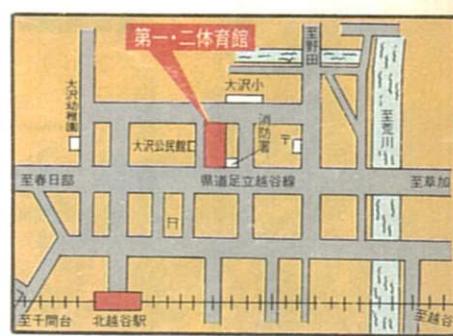
(内線 290・291)
*10月31日が雨天のときは会場は市立第一・二体育館になり、催し物が少なくなります

交通安全市民まつりといっしょに、商工まつりも開かれます。商工まつりでは市内の商店・事業所・工場などから商工物産が出品され、市価より2割から5割引きで即売されます。24日には市民まつり会場と商工まつり会場を結ぶマイクロバスも運行されます。発着点は福祉会館前の予定です。

とき 10月23日(土)・24日(日)
午前10時～午後5時
ところ 市立第一・二体育馆
＊即売会のほかに素人カラオケの
ど自慢大会や福引き大会があり
ますのでおいでください。
問合せ 越谷市商工会

266=6111

第12回商工まつりは
10月23日(土)・24日(日)



▲商工まつり会場案内

